KENWOOD

UTB-10

特定小電力トランシーバー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド
B5A-0314-00 (J)

株式会社 JVCケンウッド
〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

  フリーダイヤル **0120-2727-87**

  発信者番号が非通知の場合は、『0120』の前に『186』を付けてからおかけください。
  ＜電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにご注意ください。＞
  携帯電話・PHS・一部の IP 電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合は、
  045-450-8950
  ＦＡＸ　045-450-2308
  住所　〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
  受付日　月曜日～土曜日（祝祭日・弊社休日を除く）
  受付時間　月曜日～金曜日　9：30 ～ 18：00
  土曜日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 17：30
- 修理などアフターサービスについては、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容 (表示と意味) をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) を示しています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグを AC コンセントから抜く) を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危険

使用環境・条件

引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。

運転しながら本機を操作(通信)するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作(通信)してください。

充電池 (バッテリーパック) の取扱について

充電池は以下のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

充電池を電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れないでください。

充電温度範囲は、5℃～ 40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。

専用充電台以外では充電しないでください。

本機以外の機器に取付けないでください。

火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。

端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

⚠警告

使用環境・条件

電子機器 (特に医療機器) の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での無線機器の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認した上でご使用ください。

本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

使用方法について

エアバック装置の近くに無線機を置かないでください。エアバック装置が動作したときなど無線機が体に当たって怪我をすることがあります。

機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホンなどのケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。

本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

アンテナやストラップを持って、無線機を振り回さないでください。人に当ってけがを負わせたり、物に当って無線機が破損することがあります。

ネックストラップを使用している場合、ネックストラップがドアや機械等に挟まれないように注意してください。怪我の原因となります。

高温になる場所（火のそば、暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、怪我の原因となります。

異常時の処置について

内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。

煙が出たら、すぐに電源を切り、電池を外し、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。

保守・点検

本機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

⚠注意

使用環境・条件

テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。

無線機や付属品は幼児の手の届かないところに保管してください。

使用方法について

アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。

ベルトフックに指をはさまないようにご注意ください。

スピーカー / マイク端子には指定されたオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

乾燥した部屋やカーペットを敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用した時に静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じることがあります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカーマイクロホンをご使用ください。

長期間使わないときは、電源を切り、電池を外してください。

お手入れの際は、電源を切り、電池を外してください。

イヤホンを使用するときは、電源を入れる前に音量つまみを下げてください。聴覚障害の原因となることがあります。

水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。

◆ 充電器などのオプション使用時の注意についてはオプションに付属の取扱説明書をご覧ください。

保証とアフターサービスについて

保証書（別添）
この製品には、保証書を(別途)添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げの日より **1 年間** です。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」(下記) を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合、設定された項目がリセットされる場合がありますので、別途お客様ご自身でお控えくださいますようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合などによって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証期間中は・・・
正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または弊社通信機サービスセンターが修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は・・・
お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

持込修理
この製品は持込修理とさせていただきます。

修理料金の仕組み（有料修理の場合は次の料金が必要です。）

技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。

送料： 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、リセットしてください。設定されている内容は全てお買い上げ時の状態に戻ります。《裏面の「リセット」をご覧ください。》

症　状	原　因	処　置
● 電源が入らない ● 表示がすぐ消える ● 表示が点滅して、電源が切れない	電池の容量が低下している	充電池を充電する
		電池を交換する
● 受信できない ● 音量レベルを上げても音が出ない	グループ番号が違う	グループ番号を相手と同じにする
相手と通話できない	チャンネルかグループ番号が違う	チャンネル、グループ番号を相手と同じに合わせる
	相手との距離が離れすぎている	通話のできる距離をめやすに通話する
チャンネルが切り替わらない	キーロックになっている	キーロックを解除する
送信ができない	<受信アイコン> が 点 灯している	チャンネルを変更するか、<受信アイコン>が消えるのを待つ
	送信禁止を「on」に設定している	「oFF」に設定する
表示部の照明が消えない	照明が常時点灯の設定になっている	バックライト動作を「ACt」、「Any」または「oFF」に設定する
電池がすぐ消耗する	照明の常時点灯をよく使う	常時点灯は必要なときだけ使う
	バッテリーセーブを「oFF」に設定している	「on」に設定する
電池の残量表示が正しく表示されない	バッテリー種別設定が正しくない	使用する電池に合った設定にしてください
何も聞こえないのに<受信アイコン>が点灯する	グループ番号が設定された状態でスケルチを「oFF」に設定している	スケルチレベルを設定する
音声が聞き取れない	相手側無線機のボイススクランブル機能がONになっている	相手側無線機のボイススクランブル機能を OFFにする
オートチャンネルセレクトが動作しない	グループ番号が設定されていない	グループ番号を設定する

ご使用の前に

説明上の注釈表記について

このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。

このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

ご使用上の注意

- 通話のできる距離は地形や環境によって大きく異なりますが、めやすは次のとおりです。（建築物が多い地域や、自動車などの金属物体の周囲では、通話のできる距離が短くなります。）
  - ◆ 市街地：100 ～ 200m
  - ◆ 見通しのよい場所：1 ～ 2km
- 通信相手の特定小電力無線機が本製品以外の場合相手無線機の設定は下記のようにしてください。
  - ◆ 運用モード：交互通話モード(シンプレックス)
  - ◆ ボイススクランブル機能：OFF
- 本機は JIS 保護等級 2 防滴 2 型相当の仕様 (端子カバー密閉時) ですので、多少の水滴がかかっても使用できます。ただし、雨の中でのご使用や、直接水につけて使用されると故障の原因となります。水分が付いたときは、ただちに乾いた布でよくふき取ってください。端子カバーを外しているときや、外部スピーカー / マイク接続用端子にオプションのスピーカーマイクロホンなどが接続されているときは、防滴になりません。
- 激しい振動、雨、粉塵がある環境では使用しないでください。

電波法に関するご注意

- 本機は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計についての認証を取得した、特定小電力トランシーバーです。本機裏面の技術基準適合証明ラベルをはがして使用することは、電波法により禁止されています。
- 本機を分解したり、改造して使用することは電波法により禁止されています。
- 他人の通信を聞いてこれを漏らしたり、窃用することは電波法により禁止されています。

本機の付属品

付属品が全て揃っていることをご確認ください。
ベルトフック 1
保証書 1
取扱説明書 (本書) 1

電池について

アルカリ乾電池 (単 3 形 3 本 : 4.5 V)、または別売品の専用充電式バッテリーパック (UPB-5N) を使用してください。

使用する電池の種類設定

使用する電池の種類によって、設定を変えてください<メニュー➡「バッテリー種別設定」>(裏面)。お買い上げ時の設定は「アルカリ乾電池」です。電池と設定が合っていないと、下記の電池残量表示が正しく表示されません。

電池の残量表示について

電池の残量のめやすを 3 段階で表示します。
1 個点灯になると、警告音「ピーピーピーピー」が約 1 分毎に繰り返し鳴り、バッテリー容量が低下していることをお知らせします。早めに電源を切り、新しい単 3 形アルカリ乾電池と交換するか、バッテリーパックを充電してください。

◆ 単3形充電式電池は使用しないでください。端子や電池の被覆がショートして発熱し、無線機本体が壊れることがあります。

電池の使用可能時間のめやす

アルカリ乾電池使用時

使用条件	バッテリーセーブ(on)
内蔵スピーカー使用時	50 時間
イヤホンマイク使用時 (EMC-3)	60 時間

バッテリーパック UPB-5N 使用時

使用条件	バッテリーセーブ(on)
内蔵スピーカー使用時	17 時間
イヤホンマイク使用時 (EMC-3))	20 時間

※ **測定条件：**
送信 6 秒 / 受信 6 秒 / 待ち受け 48 秒の繰り返し(送信出力 10mW 、室温 25℃)
※ 電池の使用可能時間は周囲温度や音量、電池の種類などの使用条件により変動します。

バッテリーセーブについて

電池の消耗を防ぐ機能です。待ち受け状態で数秒間キー操作がないと、この機能が働きます。信号を受信するか、キー操作をするとバッテリーセーブは解除されます。

※ バッテリーセーブはグループ番号設定中やメニュー設定中、モニター中、オートチャンネルセレクト中は動作しません。

充電池の特性について

- 充電／放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら充電池の劣化が進みます。
- 高温状態で充電／放電したり、トランシーバーを使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- 充電池を高温状態で放置すると使用できなくなります。充電池が冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。
- 長期間保存後は、バッテリー容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。

電池に関するご注意

電池は、使い方を誤ると破裂や破損、液もれ、故障の原因となります。必ず次の注意事項を必ずお守りください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 火の中へ投げ込まないでください。
- 長時間使用しないときは、電池を本機から取り出してください。
- 電池の端子をショートさせないでください。
- 電池を分解しないでください。

使用済み充電池の取扱注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープなどで絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

Ni-MH 充電式
不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
リサイクルにご協力お願いいたします。

アンテナを立てる

電波が弱いときなど、必要に応じてアンテナを垂直に立てて使用してください。

電池を入れる

電池カバーを開ける前に、アンテナを立てておきます。

1 本体を持ち、指でロックを外し、電池カバーを外す

2 電池ケースの＋－の表示に従って電池を入れる

※：電池は＋端子側を先に入れてください。

◆ UPB-5N 用逆差し防止機構を設けていますが、反対向きに無理に差し込むと、無線機が故障することがあります。

3 電池カバーのツメを本体の凹部に入れてカバーを閉め、ロックする

ベルトフックを取り付ける

付属のベルトフックは縦向きに取り付けます。ベルトフックの裏のガイドを本体背面のスリットに合わせて、「カチッ」と音がして完全にロックするまで上側へスライドさせてください。

ベルトフックの取りはずし
ベルトフック上部のロック解除レバーを押しながら、ベルトフックを本体下側へスライドさせます。ベルトフック裏のガイドが本体のスリットから外れたら、ベルトフックを取り外すことができます。

オプションを接続する

◆ オプションを接続するときは、電源を切ってください。
◆ オプションを接続しているときは、防滴になりません。
◆ 断線防止のため、プラグを取外すときは、プラグ部を持って取りはずしてください。

1 端子カバーを開く

2 オプションのプラグをスピーカー/マイク端子に接続する

ストラップを取り付ける

別売品のネックストラップ SB-4 や市販品のストラップを取り付けるときは、トランシーバー背面上部のストラップ用穴を使用してください。

◆ ストラップを持って本機を振り回したりしないでください。故障やけがの原因となります。

オプション一覧

本機用として下記のオプションが用意されています。

- UCM-100 .... コントロールマイクロホン ★
  （UCM-100 は単体では使用できません。UHS-1、UHS-2、UHS-3 と組み合わせてご使用ください。）
- UHS-1 .... イヤーフックタイプイヤホン
- UHS-2 .... アコースティックチューブイヤホン
- UHS-3 .... カナルタイプイヤホン
- HS-9(G) .... プチホン型イヤホン
- EMC-3 .... イヤホン付きクリップマイクロホン
- EMC-11 .... イヤホン付きクリップマイクロホン
- EMC-12 .... イヤホン付きクリップマイクロホン(耳掛けタイプ) ★
- EMC-5F .... イヤホン付きクリップマイクロホン(マイク感度切り替え付き) ★
- KHS-21 .... ヘッドセット(PTT スイッチ無しのシンプルタイプ) ★
- KHS-35F .... ヘッドセット(耳掛けタイプ) ★
- HMC-3(G) .... ヘッドセット(感度調整 VOL 付き VOX 機能内蔵) ★
- SMC-34(G) .... リモコン対応ボリューム付きスピーカーマイクロホン
- UPB-5N .... ニッケル水素バッテリーパック
- UBC-2(G) .... ツインチャージャー
- UBC-4 .... シングルチャージャー
- SB-4 .... ネックストラップ(セーフティ機構付き)
- USC-3(G) .... キャリングケース

◆ 本機には VOX 機能がありません。VOX 機能を使用したいときは、VOX 機能が内蔵された HMC-3(G) を接続してください。(VOX機能とは、【PTT】を押さなくても、オプションのマイクロホンに向かって話すだけで自動送信される機能です。)
◆ PTT ホールド機能をオプションにて使用するときは、オプション一覧の★マークのオプションを使用してください。★マーク以外のオプションを接続すると、PTT ホールドで送信しても音声は相手に聞こえません。
◆ 本機に使用できるオプションが追加されたり、生産が終了することがあります。

仕様

チャンネル数 .... シンプレックスモード 20 ch (9+11)
使用周波数帯 .... 400 MHz 帯
送信出力 .... 10 mW
電波型式 F3E
外部低周波出力 .... 90 mW 以上 (8 Ω負荷、10 % 歪)
電源電圧 .... DC 4.5 V
使用温度範囲 .... － 10 ℃～＋ 50 ℃
外形寸法 (突起物含まず) .... 幅 55.5 x 高さ 103.9 x 奥行 26.0 mm
本体質量 (重さ) .... 約 170 g *
* アルカリ乾電池含む・ベルトフックなし

※仕様は予告なく変更することがあります。

各部の名称と機能

各キーの機能説明

❶【PTT】送信キー
送信するときに押します。離すと待ち受け状態になります。

❷【▲】【▼】キー
【▲】：チャンネル番号が上がります。
【▼】：チャンネル番号が下がります。
- メニューのオートチャンネルセレクトキー設定「SCn」が「on」に設定されているときは、1 秒以上押すとオートチャンネルセレクトを開始します。

❸ 音量つまみ
右に回す：音量を大きくします。
左に回す：音量を小さくします。

❹【⏻】キー
押す（0.5 秒以上）ごとに電源が入ったり / 切れたりします。

❺【MENU】キー
■ 押すとグループ番号設定を表示します。
■ 押しながら電源を入れると、メニューを表示します。
■ 押し続けるとキーロック機能が働きます。

表示部のアイコン説明

表示	説明
(電池アイコン)	電池の残量（めやす）を表示します。
(電波アイコン)	受信中の電波状態を表示します。<電波メーター>
(鍵アイコン)	キーロック機能が働いているときに表示します。
LOUD	ラウドネス機能が「on」に設定されているときに表示します。
(送信アイコン)	送信中に表示します。<送信アイコン>
(受信アイコン)	受信中に表示します。<受信アイコン>
(PTTホールドアイコン)	PTT ホールドが「on」に設定されているときに点灯します。(送信中は点滅します)

操作のしかた

通信操作

1 【⏻】を押す（0.5秒以上）
電源が入り、チャンネル番号が表示されます。

2 音量つまみを半分ぐらい右に回す

3 【▲】【▼】を押して通信するチャンネル番号に切り替える
【▲】を押すとチャンネル番号が上がります。
【▼】を押すとチャンネル番号が下がります。

【▲】または【▼】を押し続けると、押している間連続してチャンネル番号が切り替わります。

9チャンネル機と通信する場合
h1 ～ h9 に合わせます。

11チャンネル機と通信する場合
1 ～ 11 に合わせます。

4 【PTT】を押しながら話す
<送信アイコン>が点灯し、送信状態になります。

マイク部から口を 5 cm ぐらい離してお話しください。

5 話し終わったら、【PTT】から指を離す
待ち受け状態になります。
受信すると<受信アイコン>と<電波メーター>が点灯します。

音量つまみを回し好みの音量に調整してください。

<電波メーター>のレベル表示について
電波状態のめやすを 3 段階で表示します。

3本点灯（強電界）　2本点灯（中電界）　1本点灯（弱電界）

6 手順4と5の操作を繰り返して、通信する
トランシーバーを使用しないときは【⏻】を押し（0.5 秒以上）電源を切ります。

◆ 設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
◆ トランシーバー間の距離が近い（10m 以内）と「h7 と 1」、「h8 と 2」、「h9 と 3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド (h1 ～ h9 または 1 ～ 11 チャンネル) 内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

通信時間の制限

本機の 1 回の通信時間は、送信・受信を合わせて 3 分間です。通信終了の 30 秒前になると、表示部の数字が点滅しながらカウントダウンを始めます。10 秒前になると「ピッ」と予告音が鳴り、3 分を経過すると送信禁止音（プー）とともに送信を停止し、待ち受け状態に戻ります。続けて通信するときは、送信停止 2 秒後に【PTT】を押して相手を呼び出してください。

グループ番号の設定

他のグループと同じチャンネルで通信している場合、お互いの声が混ざり合って通信しづらくなります。仲間同士でグループ番号を設定しておくと、混信がなくなって快適に通話ができます。

1 【MENU】を押す
グループ番号設定画面になります。

2 【▲】または【▼】を押す
グループ番号が切り替わります。

設定範囲
oFF、1 ～ 38
- 【▲】または【▼】を押し続けると、押している間連続してグループ番号が切り替わります。

3 【MENU】を押す
または 10 秒間何もキーを操作しないと、グループ番号設定が終了します。

◆ 他のグループが同じチャンネル番号を使用している場合、音声は聞こえなくても受信状態になり、<受信アイコン>と電波メーターが点灯します。このときに【PTT】を押しても「プー」と鳴って送信できません。
◆ バッテリーセーブ機能が働いているときに、同じグループを受信すると、バッテリーセーブ機能は自動的に解除されますが、違うグループを受信している場合は、バッテリーセーブ機能は解除されません。このときに受信信号の確認動作を繰り返すため、<受信アイコン>が点滅表示することがあります。

オートチャンネルセレクト

自動的にチャンネル内をスキャンして、グループ番号が一致したチャンネルを見つけるとそこで停止して受信する機能です。スキャン中に【PTT】を押して送信すると、同じグループ番号の空いているチャンネルが設定され送信します。
- オートチャンネルセレクトを使用する前に以下の設定を確認します。
  ◆ グループ番号の設定：1～ 38
  ◆ オートチャンネルセレクトキー設定：「on」《「SCn」》（本機の【▲】、【▼】を使用するとき）
  ◆ リモートキー設定：「on」《「REm」》（オプションのリモート対応マイクロホンを使用するとき）

1 本機の【▲】、【▼】を1秒以上押す、またはオプションのリモート対応マイクロホンの【2】を1秒以上押す
「SCn」と表示され、スキャンを開始します。

2 【PTT】を2 ～3秒押し続ける
空いているチャンネルで 10 秒ほど停止します。停止中に【PTT】を押したまま通常よりゆっくり呼びかけます。
呼びかけが終わったら【PTT】から指を離し、相手の方がそのチャンネルで応答してくるのを待ちます。

3 <受信アイコン>が消えてから、【PTT】を押して応答する

オートチャンネルセレクトを解除する

4 本機の【▲】、【▼】、【MENU】を押す。または、オプションのリモート対応マイクロホンの【2】を1秒以上押す
表示しているチャンネルで待ち受け状態になります。

◆ 10 秒以内に応答してください。10 秒以上送信・受信がないと、スキャンを再開します。
◆ オートチャンネルセレクト中にモニター機能を ON にするとスキャンが一時停止して、チャンネルをモニターできます。
◆ グループ番号が「oFF」のときは、オートチャンネルセレクトキーは動作しません。

モニター

電波が弱いときにスケルチ（雑音消去回路）を強制的に開き、信号の状態を一時的にモニターすることができます。また、音量を調整するときにも使用できます。

モニターする

1 【⏻】を押し、一度電源を切る

2 【▼】を押しながら【⏻】を押し、電源を入れる
スケルチが開いて、<受信アイコン>と<電波メーター>が点灯します。

- 信号を受信していないときは " ザー " という雑音がでます。音量レベルを調整するときのめやすにもできます。

モニターを解除する

3 電源を入れ直しします。

◆ モニター機能を使用するときは、音量レベルに注意してください。特にイヤホンを使用しているときは、" ザー " というノイズを大きい音量で聞くと耳に障害を受けることがあります。

オプションのリモート対応マイクロホンを接続している場合は
(リモコンキー設定《「REm」》を「on」に設定してください。)

1 オプションのリモート対応マイクロホンの【1】を押す
押している間スケルチが開きます。

コールトーン呼び出し

相手を電話の呼び出し音のような音（コールトーン）で呼び出すことができます。コールトーンは 6 種類から選択できます。また、4 種類のメロディートーンも選択できます。

本機のキーでコールトーン呼び出しをするとき

1 【PTT】を押したまま【▲】を押す
押している間コールトーンが送信されます。

オプションのリモート対応マイクロホンのキーを押して、コールトーン呼び出しをするとき
- リモートキー設定《「REm」》を「on」に設定しておきます。

1 オプションのリモート対応マイクロホンの【3】を押す
押している間コールトーンが送信されます。
- 【PTT】を押したままリモート対応マイクロホンの【3】を押しても送信されます。

◆ キーロックが動作しているときもコールトーンを送信することができます。

キーロック

間違えてチャンネル番号やグループ番号を変えないように、キーをロックしておくことができます。
- キーロックに連動して表示を消すこともできます。《「チャンネル非表示設定」》

キーロックをする

1 【MENU】を「キーロック長押し時間」で設定した時間以上押す
キーロックが動作します。キーロック中は「🔑」が点灯します。

キーロックを解除する

2 【MENU】を設定した時間以上押す
キーロックが解除され、「🔑」が消灯します。

キーロック中でも以下のキー操作はできます。
- 【⏻】(電源入る/切る)
- 【▲】+【▼】+【⏻】(オールリセット)
- 【▼】+【⏻】(モニター)
- 【PTT】(送信)
- 【PTT】+【▲】(コールトーン送出)
- オプションのリモート対応マイクロホンの【1】(モニター)
- オプションのリモート対応マイクロホンの【3】(コールトーン送出)

◆ キーロックに連動して表示を消すこともできます。《「チャンネル非表示設定」》。

操作のしかた（続き）

メニュー

各機能の設定をします。

メニューの操作

1 【⏻】を押し、一度電源を切る

2 【MENU】を押しながら【⏻】を押し、電源を入れる
メニューの設定画面が表示され、設定項目が点滅します。

3 【▲】または【▼】を押す
押すごとに設定項目が切り替わります。

4 【MENU】を押す
設定値が点滅します。

5 【▲】または【▼】を押す
設定値を選択します。

6 【MENU】を押す
設定値が確定して、設定項目選択に切り替わります。

7 【MENU】を1秒以上押す
メニューが終了します。
- 【PTT】を押しても終了します。

設定項目一覧

表示	設定項目	設定値	初期値
bEP	ビープ音	oFF/on	on
bty	バッテリー種別	AL/ni	AL
APo	オートパワーオフ	oFF/on	oFF
SCn	オートチャンネルセレクトキー（本機）	oFF/on	oFF
t-i	送信禁止	oFF/on	oFF
PHd	PTT ホールド	oFF/on	oFF
R-t	PTT ホールド自動復帰	oFF/on	oFF
Ctn	コールトーン音色	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10	1
SqL	スケルチレベル	oFF/1/2/3	2
LUd	ラウドネス	oFF/on	oFF
SAV	バッテリーセーブ	oFF/on	on
REm	リモートキー	oFF/on	oFF
LoC	キーロック長押し時間	1/2/3/4/5	1
C--	チャンネル非表示	oFF/on/LoC	oFF
bLt	バックライト動作	oFF/ACt/Any/on	ACt

ビープ音設定

キーを操作したときに鳴る確認音をビープ音といいます。この機能を「oFF」に設定すると、このビープ音を鳴らさないようにできます。

oFF	ビープ音は鳴りません。
on	ビープ音が鳴ります。

◆ 以下の警告音、予告音などはビープ音を「oFF」に設定しても鳴ります。
● 通信時間制限予告音　● オートパワーオフ警告音
● 送信禁止音　● コールトーン　● バッテリー減電圧警告音

バッテリー種別設定

使用する電池の種類を設定します。

AL	アルカリ乾電池を使用するとき
ni	バッテリーパック UPB-5N を使用するとき

◆ 設定値を選択するときは、使用する電池の種類に合った設定をしてください。誤った設定にすると、電池の残量表示が正しく表示されません。

オートパワーオフ設定

この機能を「on」に設定すると、1 時間 59 分の間キー操作をしない場合、電源を切り忘れたとみなして警告音を鳴らします。さらに同じ状態が 1 分間続くと「APo」と点滅表示して自動で電源を切ります。トランシーバーの電源を切り忘れたときの、電池の消耗を防ぎます。

oFF	オートパワーオフ機能は動作しません。
on	オートパワーオフ機能が動作します。

◆ オートチャンネルセレクト中は、オートパワーオフ機能は動作しません。

オートチャンネルセレクトキー設定

この機能を「on」に設定すると、本機の【▲】、【▼】を1 秒以上押して、オートチャンネルセレクトができます。

oFF	本機の【▲】、【▼】ではオートチャンネルセレクトは動作しません。
on	本機の【▲】、【▼】でオートチャンネルセレクトが動作します。

送信禁止設定

【PTT】を押しても送信させない機能です。トランシーバーを受信専用で使用するときなどに設定します。

oFF	送信動作を許可します。
on	送信動作を禁止します。

PTTホールド設定

通常は送信するときは【PTT】キーを押し続けますが、本機能を「on」に設定すると、【PTT】キーを一度押せば【PTT】キーを離しても送信が継続します。送信をやめるときはもう一度【PTT】キーを押します。

oFF	【PTT】キーを押し続けると送信状態になり、【PTT】キーを離すと待ち受け状態になります。
on	【PTT】キーを押すと送信状態が継続され、再度【PTT】キーを押すと待ち受け状態になります。

- 「on」に設定すると、「(PTTホールドアイコン)」が表示され、送信中は点滅します。

PTTホールド自動復帰設定

「PTT ホールド」が「on」に設定されている場合、通信時間の制限により通信が終了しても、送信休止時間（2 秒）後に自動で送信を再開する機能です。

oFF	自動で送信は再開しません。
on	自動で送信を再開します。

◆ 送信休止時間経過後、使用チャンネルに受信信号がある場合は、送信は再開しません。
◆ 送信休止時間の間にキー操作があった場合は、送信は再開しません。
◆ PTT ホールド設定「PHd」が「oFF」のときは、PTT ホールド自動復帰は動作しません。

コールトーン音色設定

コールトーンとして送出する音色を変更できます。

1 ～ 6	コールトーン 1 ～ 6
7 ～ 10	メロディートーン 1 ～ 4

スケルチレベル設定

スケルチ (雑音消去回路) が解除（開く）されるレベルを設定します。スケルチレベルを下げると弱い電波でも受信しやすくなりますが、雑音（" ザー " という雑音）が多くなります。逆に、スケルチレベルを上げると雑音は少なくなりますが、強い電波しか受信しなくなります。

oFF	常に受信状態になります (常時モニター)。
1/2/3	数値を下げると、弱い信号でも受信状態になります。数値を上げると、強い信号のみ受信状態になります。

◆ グループ番号を設定している場合は、「スケルチレベル」が「oFF」に設定されていても、グループ番号が一致する信号を受信しなければ、スケルチは解除されません。

ラウドネス設定

音量つまみを回して音量を大きくしても、相手の声が小さくて聞きとりにくい場合は、ラウドネスを「on」にすると、本機のスピーカー音量がより大きくなります。

oFF	ラウドネス機能は動作しません。
on	ラウドネス機能が動作します。

- 「on」に設定すると、「LOUD」が表示されます。

バッテリーセーブ設定

電池の消耗を防ぐ機能です。信号を受信するか、キー操作するとバッテリーセーブは一時的に解除されます。

oFF	バッテリーセーブ機能は動作しません。
on	待ち受け状態で約 5 秒間キー操作がないと、バッテリーセーブ機能が働きます。

◆ バッテリーセーブ「on」設定時は、消費電力を抑える動作を繰り返しているため、受信音声の始めが途切れる場合があります。音声の途切れが気になる場合は、「oFF」に設定してご使用ください。

◆ バッテリーセーブ機能が働いているときに、同じグループを受信すると、バッテリーセーブ機能は自動的に解除されますが、違うグループを受信している場合は、バッテリーセーブ機能は解除されません。このときに受信信号の確認動作を繰り返すため、<受信アイコン>が点滅することがあります。
◆ モニター中やオートチャンネルセレクト中は、バッテリーセーブ機能は動作しません。

リモートキー設定

オプションのリモート対応マイクロホンのリモートキー【1】、【2】、【3】の動作を設定する機能です。

oFF	マイクロホンのリモートキーは動作しません。
on	マイクロホンのリモートキーが動作します。

◆ リモートキー設定が「on」のときは、以下の機能が動作します。
● リモートキー【1】：モニター
● リモートキー【2】：オートチャンネルセレクト
● リモートキー【3】：コールトーン呼び出し

キーロック長押し時間設定

【MENU】を押してキーロックが作動 / 解除するまでの時間を設定できます。

1 ～ 5	1 秒～ 5 秒

チャンネル非表示設定

チャンネル番号やグループ番号を表示させない設定です。

oFF	チャンネルやグループ番号を表示します。
on	チャンネルやグループ番号は表示しません。
LoC	キーロック時にチャンネルやグループ番号を表示しません。

- この機能を「on」または「LoC」に設定している場合は、チャンネルを切り替えると、切り替えたチャンネルを 2 秒間表示します。電源を入れたときも現在のチャンネルを 2 秒間表示します。

バックライト動作設定

表示部照明の点灯条件を設定します。

oFF	バックライトは常に消灯します。
ACt	【PTT】以外のキーを操作したときにバックライトが 5 秒間点灯します。
Any	キーを操作したときや信号を送信 / 受信するとバックライトが 5 秒間点灯します。
on	バックライトが常に点灯します。

リセット

リセットすると、設定されている内容は全てお買い上げ時の状態に戻ります。

1 一度電源を切る

2 【▲】と【▼】を押しながら、【⏻】を押して電源を入れる
表示が全点灯します。

◆ UTB-10 で使用していないアイコンも表示されます。

3 【▲】、【▼】、【⏻】のいずれかのキーを離す
確認画面が表示されます。

4 【PTT】を押す
設定がリセットされて初期値に戻り、待ち受け状態になります。

- 【PTT】以外のキーを押した場合は、リセットしないで待ち受け状態になります。